

# Vol.18 BTCへの資金再流入は確定で最高値突破は時間の問題に(2025年5月7日)

ビットコイン週刊フォーキャスト

## 前回のレポート要点 (Vol.17)

前回のレポートでは以下のポイントをお伝えしました:

- 4月24日にソフトバンクらが出資する「21キャピタル」が42,000BTCのビットコイン保有予定を発表し、世界3位の保有規模で設立された。
- 4月25日、中国人民銀行総裁は、今年の中国経済は回復基調にあり、緩和的な金融政策を継続すると表明している。
- 4月17日から29日の間に、北米ETFを通じて3.9 Trillionドルがビットコインに流入している。
- 4月末を控えてドルの流動性が減少傾向にあり、5月1日の月初動向が注目されている。
- ビットコインは現在95,000ドル前後で推移しており、4月22日にニューヨークのゴールドが3,500ドルに到達した際にビットコインへの資金流入が起こっている。

## 最新の市場動向分析まとめ

5月4日: ビットコイン100MA < 200MAクロスで機械的な売り

5月5日: BTCの北米現物ETF市場に流入した累計資金は過去最大を突破!

5月7日: 中国人民銀行(PBOC)が2025年に向けて利下げ

5月8日(予定): 中国の基準金利を1.5% -> 1.4% へと下げ!

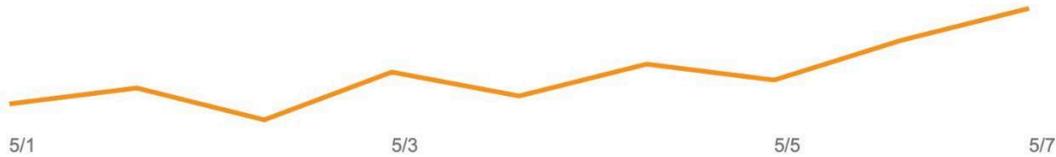
<https://finance.yahoo.com/news/china-central-bank-cuts-7-014254763.html>

その他、AIピックアップは以下です。

# ビットコイン市場動向 (5/1-5/7)

週足トレンドラインブレイクで10万ドルへ

## 価格推移 (93,000-95,000ドル)



クロードのコンテンツ

### 1 5/1：景気後退懸念

- 米国の景気後退懸念
- BTC価格は一時93,000ドル下回る
- ISM製造業指数が弱い結果
- 94,000ドル台を回復

### 2 5/2：米雇用統計

- 米雇用統計がポジティブな結果
- 経済後退懸念が薄れる
- 市場のリスク選好が回復
- ETFへの資金流入が継続

### 3 5/3：米中通商協議

- 中国が米国との通商協議を検討
- 市場にリスクオンムードが広がる
- 明確な上昇を見せる
- 95,000ドル付近で推移

### 5 5/5：ISM非製造業指数

- ISM非製造業指数発表に注目
- 高い数値：インフレ警戒
- 低い数値：景気減速&利下げ期待
- FRB政策見通しが主要ドライバー

### 7 5/7：週足トレンドラインのブレイクアウト

- 週足下落トレンドラインをブレイク
- 米中貿易交渉の進展報道が背景
- 強気ムード広がる
- 10万ドル到達への期待高まる



## 市場変化の総括

### マクロ経済要因

経済指標に敏感に反応  
FRB政策が主要変動要因

### 機関投資家の影響

ETFへの記録的資金流入  
市場の底堅さを支える

### 政治・地政学要因

トランプ関税政策の影響  
米中関係の進展に反応

### 規制・政策の追い風

BTC戦略的備蓄が市場信頼感向上  
中長期上昇トレンド再開の兆し

10万ドル到達への期待高まる



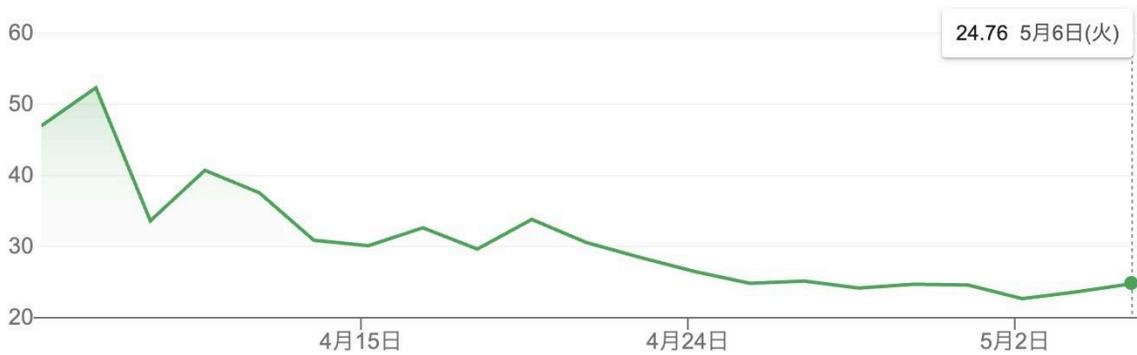
市場概況 > VIX指数

# 24.76

-22.22 (-47.30%) ↓ 過去 1 か月

5月6日 15:15 GMT-5 • 免責条項

1 日 | 5 日 | 1 か月 | 6 か月 | 年初来 | 1 年 | 5 年 | 最大

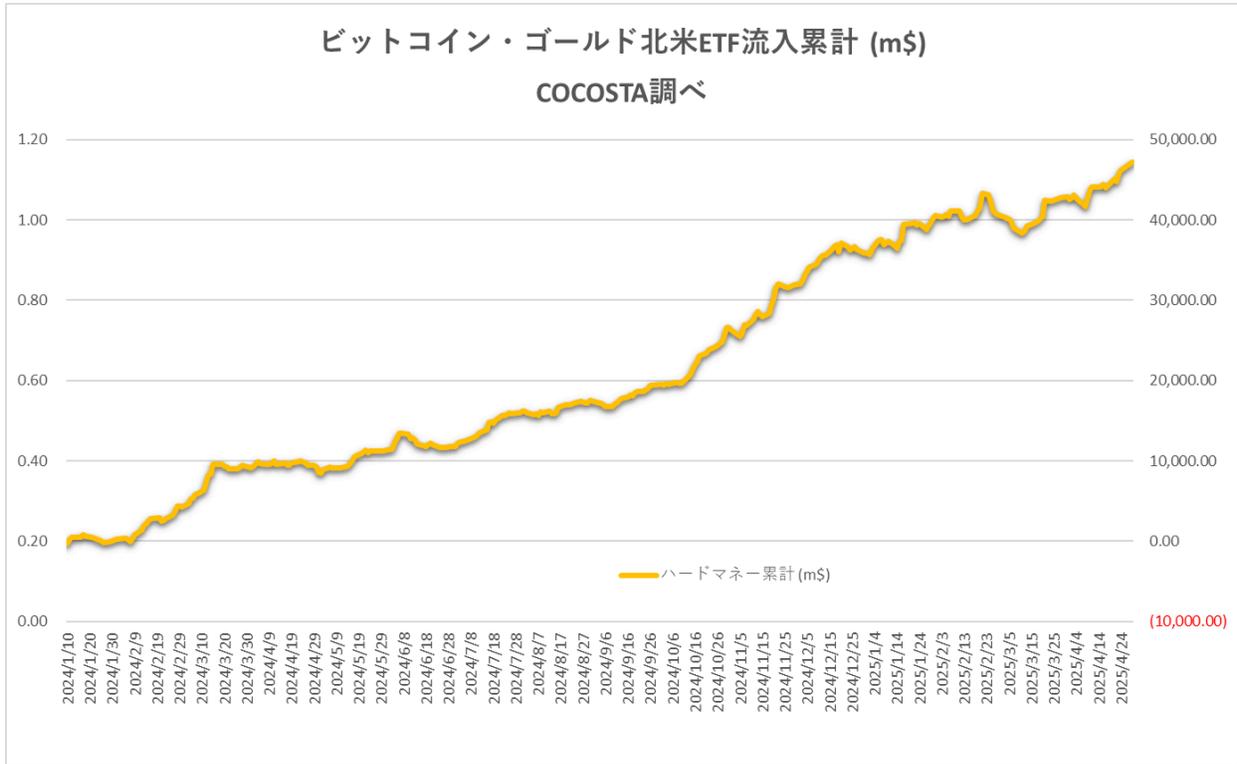


始値	23.97	安値	23.90	52 週高値	65.73
高値	25.11	前日の終値	23.64	52 週安値	10.62

[図2: VIXは 下落傾向が続く]

Date	GLD ETF (m\$)	BTC ETF (m\$)	Hard Mon	GLD累計	BTC 累計	累計 (m\$)
2025/4/2	57.17	218.10	275.27	6,572.49	36,220.98	42,793.47
2025/4/3	431.07	(99.80)	331.27	7,003.56	36,121.18	43,124.74
2025/4/4	(337.82)	(64.90)	(402.72)	6,665.74	36,056.28	42,722.02
2025/4/7	(583.50)	(103.90)	(687.40)	6,082.24	35,952.38	42,034.62
2025/4/8	(83.37)	(326.30)	(409.67)	5,998.87	35,626.08	41,624.95
2025/4/9	1104.49	(127.20)	977.29	7,103.35	35,498.88	42,602.23
2025/4/10	1275.31	(149.50)	1125.81	8,378.66	35,349.38	43,728.04
2025/4/11	357.29	(1.00)	356.29	8,735.95	35,348.38	44,084.33
2025/4/14	0.00	1.50	1.50	8,735.95	35,349.88	44,085.83
2025/4/15	0.00	76.40	76.40	8,735.95	35,426.28	44,162.23
2025/4/16	429.47	(171.10)	258.37	9,165.42	35,255.18	44,420.60
2025/4/17	(522.21)	106.90	(415.31)	8,643.21	35,362.08	44,005.29
2025/4/21	757.67	387.40	1145.07	9,400.88	35,749.48	45,150.36
2025/4/22	(1260.97)	936.50	(324.47)	8,139.91	36,685.98	44,825.89
2025/4/23	152.51	917.00	1069.51	8,292.42	37,602.98	45,895.40
2025/4/24	(62.44)	442.00	379.56	8,229.97	38,044.98	46,274.95
2025/4/25	(242.85)	380.00	137.15	7,987.13	38,424.98	46,412.11
2025/4/28	0.00	591.20	591.20	7,987.13	39,016.18	47,003.31
2025/4/29	92.17	172.80	264.97	8,079.30	39,188.98	47,268.28
2025/4/30	(306.26)	(56.30)	(362.56)	7,773.04	39,132.68	46,905.72
2025/5/1	119.14	422.50	541.64	7,892.18	39,555.18	47,447.36
2025/5/2	(119.14)	674.90	555.76	7,773.04	40,230.08	48,003.12
2025/5/5	(504.51)	425.50	(79.01)	7,268.53	40,655.58	47,924.11
2025/5/6	(149.18)	(122.40)	(271.58)	7,119.35	40,533.18	47,652.53

[図3: 5月5日には北米ビットコインETFへの資金流入が過去最大を突破]



[図4: ハードマネー (BTCとゴールド) の北米現物ETFに流入する資金総額の推移]

# ビットコイン市場動向レポート - 2025年5月7日版

## 市場概況: 資金再流入と強力な上昇圧力

現在のビットコイン市場は、表面的な価格の横ばい状況の裏で、非常に強力なファンダメンタルズを形成しつつあります。5月に入ってからビットコイン価格は93,000~97,000ドルの間で推移していますが、複数の指標が市場の力強さを示しています。

## 価格動向と技術的分析

5月初旬、ビットコイン価格は一時的に94,000ドルまで下落しましたが、これは100日移動平均線が200日移動平均線を下回る「デッドクロス」による機械的な売りが主因でした。

しかし、注目すべきは、この技術的な売りシグナルにもかかわらず、価格が数日で回復し、現在は97,000ドル水準まで戻している点です。これは市場の底堅さを示す重要な指標と言えます。

弱気相場であれば、このような単純な売りシグナルでも、大きな下落につながるケースが多いですが、今回はそうならなかったという事実は、市場参加者がビットコイン価格の上昇に自信を持っていることの裏返しといえるでしょう。

## 主要な市場指標

### 1. ETF資金流入の記録的増加

5月5日には北米ビットコインETF市場への累計資金流入が過去最大を記録しました。

これは機関投資家からの継続的な資金流入を示すものであり、特に注目すべき点です。また、ビットコインとゴールドのETF累計流入額も5月2日時点で過去最高を更新しており、「ハードマネー」資産への選好が強まっていることを示しています。

### 2. ドル売り圧力とリスク選好の高まり

市場参加者のドル売り意識には変化がなく、ドルインデックスが重要な節目である100に達していることから、テクニカル的にもドル売りが再開しやすい環境が整っています。

ドルが売られると、その資金は他の資産に流れる必要があり、ビットコインもその受け皿となる可能性が高まっています。

### 3. VIX指数(恐怖指数)の低下

ボラティリティインデックス(VIX)は24台まで下がってきており、市場参加者の証拠金要請額も減少しています。これにより、投資家の余剰資金がビットコイン市場に流入しやすい環境が整っていると言えるでしょう。

### 4. 中銀ハンターシグナルの考察

ドルの流動性とビットコインの価格を比較する「中銀ハンター」では、現在、利確(売り)シグナルが連続して発生しています。

しかし、過去の例(2023年10月の35,000ドル時)では、このシグナルを無視して価格が上昇し続け、約半年後には倍額(70,000ドル)に到達した経緯があります。

現在シグナルが出始めたのは4月22日の93,000ドル付近からであり、同様の展開が起これば、今後180,000ドル超が視野に入る可能性もあります。

これは以前から言及されてきた年末目標の170,000ドルとも整合性のある水準です。

# 主要な市場影響要因

## 1. 中国の金融緩和政策

5月7日、中国人民銀行(PBOC)が基準金利を1.5%から1.4%へと引き下げると発表しました。

さらに追加資金投入の方針も明らかにされており、この余剰資金の一部がビットコイン市場に流入する可能性があります。

習近平国家主席が経済回復を明言している以上、金融面からの強力な後押しは継続すると見られます。

## 2. 米国FRBの金融政策

5月7日(米国時間)にはFOMCの金利決定会合が予定されています。パウエル議長が利下げの条件を明示した場合、6月以降の利下げ確率に変化が出る可能性があります。

CMEのフェドウォッチで6月の利下げ確率が上昇すれば、ビットコインも大きく上昇するかもしれません。

## 3. トランプ政権の政策傾向

トランプ大統領の資産の多くは不動産であり、長期金利が1%上昇すると不動産評価額が約10%下落する関係にあります。

このため、金利上昇に対しては何らかの対抗措置を取る可能性が高く、これもビットコイン価格にとって追い風となり得ます。

## 今後の見通しとポイント

1. 短期的な価格目標: CMEの先物取引高は過去最大を突破しており、110,000ドル越えは時間の問題と考えられます。
2. 注目すべきサポートレベル: 万が一調整が入った場合、94,000ドルが最初のサポートとなり、さらに下落すれば100日移動平均線がある90,000ドル付近が重要な買い場となる可能性があります。
3. 年末までの長期見通し: 現在の強い上昇圧力が継続すれば、年末には170,000~180,000ドル水準への到達も視野に入ります。
4. リスク要因: FOMCでのパウエル議長の発言内容によっては一時的な調整の可能性もありますが、全体的なトレンドを覆すには至らないと予想されます。

## 結論

現在のビットコイン市場は、表面的な価格の横ばい状況にもかかわらず、非常に力強いファンダメンタルズを形成しつつあります。

ETFへの資金流入増加、中国の金融緩和、リスク選好の高まりなど、複数の要因が上昇圧力を強めています。

短期的な調整の可能性は残るものの、全体的なトレンドは引き続き上昇方向にあり、年末に向けて新たな高値を目指す展開が予想されます。

今週は以上です。

引き続き、ハッピー・ビットコイン！